

継続事業評価調書

【街路事業】

都市計画道路 あさぎりふたみ 朝霧二見線 たにやぎ (谷八木)

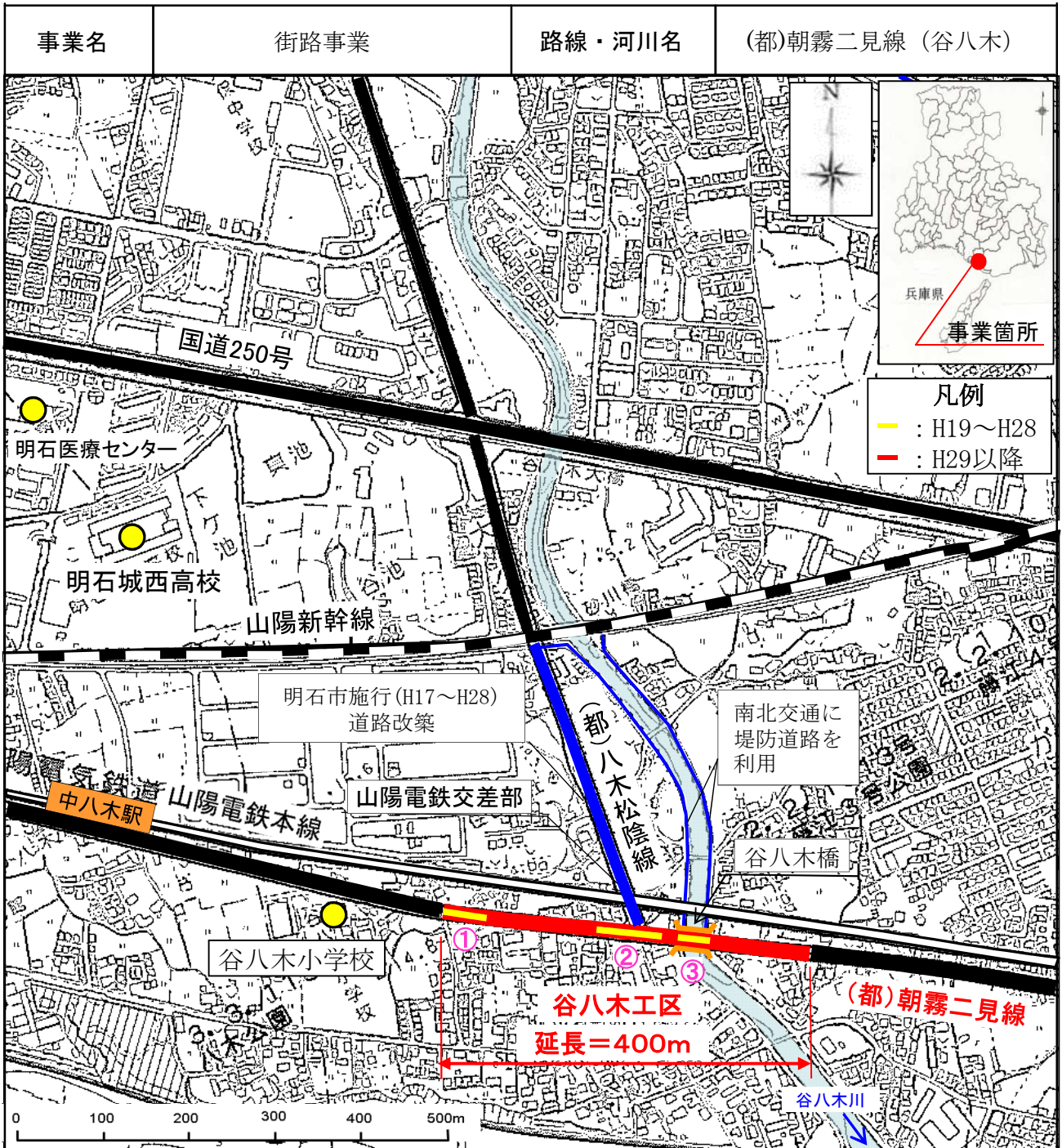
県土整備部

土木局 道路街路課

投資事業評価調査（継続：再評価 [第1回]）

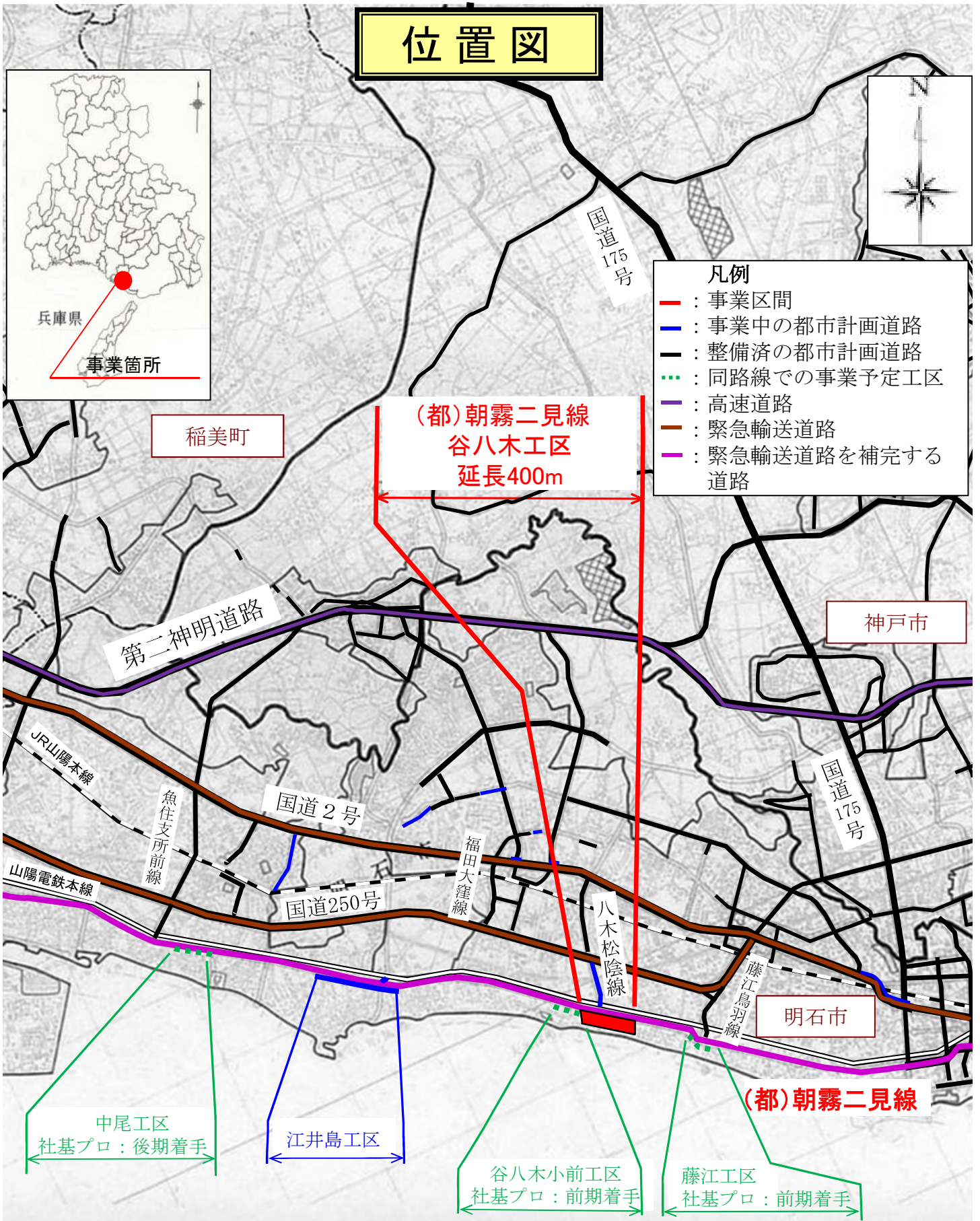
部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	街路担当参事 上野 敏明 (街路班長 關 康夫)		内線	4474 (4480)
事業種目	街路事業	新規評価年度	平成 18 年度	現計画	新規評価時点	
事業名	都市計画道路 朝霧二見線 (谷八木工区)	事業採択年度	平成 19 年度	総事業費	13 億円	13 億円
		着工年度	平成 19 年度	内地補償費	10 億円	10 億円
事業区間	明石市大久保町谷八木	完成予定年度	平成 31 年度	平成 24 年度		
		進捗率 (内用補進捗率)	56% (81%)	—		
		残事業費	6 億円	—		
事業の目的			事業内容 (): 新規評価時点			
<p>当該路線は、国道 2 号及び国道 250 号を補完し、東播磨地域臨海部の東西交通を担う幹線道路である。</p> <p>○交通安全性の向上 通勤や通学等に伴う自転車や歩行者の利用が多いことから、自転車専用通行帯や歩道の整備、車道の拡幅により、安全で円滑な交通を確保する。</p> <p>○防災機能の強化 緊急輸送道路を補完する道路として、大規模地震時等の防災空間を確保するため、拡幅整備を行う。</p>			<p>【延長】歩道整備[両側] 400m(400m)</p> <p>【幅員】 計画：2車線+1.5m自転車専用通行帯 +2.0m両側歩道 W=6.0m[16.0m] 現況：2車線+1.3m片側歩道 W=5.5m[7.7m]</p> <p>【現道交通量】[H28実測] (H18実測) 自動車：12,372台/日 (12,619台/日) 歩行者：173人/12h (173人/12h) 自転車：105台/12h (88台/12h)</p> <p>【負担割合】国 55%、県 22.5%、市 22.5%</p>			
事業を取り巻く 社会経済情勢 等の変化	<p>・平成 28 年 7 月に「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」が改定された。</p> <p>【新規評価時点からの事業計画の変更概要】</p> <p>①本路線の谷八木橋架替工事は、用地買収後の平成 21 年度に着手する予定であったが、 ・地元調整の結果、工事中は谷八木川の両岸堤防道路が通行止となるため、代替ルートとなる(都)八木松陰線(明石市施行)供用後の着手となること、 ・(都)八木松陰線の供用が用地買収の難航等により平成 28 年度になること、 より、着手が約 7 年遅れた。</p> <p>②自転車ガイドラインの改定(平成 28 年)等、“自転車は原則車道”の徹底を受け、道路幅員の再配分を行い、自転車歩行者道から歩道と自転車専用通行帯に変更する。</p>					
進捗状況	<p>①進捗率は 56%、用地補償進捗率 81%である。</p> <p>②平成 29 年 1 月の(都)八木松陰線供用に合わせ、谷八木橋架替工事に着手し、併せて接続する交差点改良を完成させる。</p>					
評価視点	評価結果の説明					
審査会意見及び対応方針 (H18 年度新規評価)	【審査会意見】 新規着手妥当		【対応方針】 —			
(1) 必要性	<p>①沿道周辺には、谷八木小学校や山陽電鉄中八木駅等が立地しており、多くの周辺住民が通勤や通学等として利用しているが、自動車交通が多い中、狭い路肩や歩道を通行している状況である。</p> <p>②過去 5 年間に 13 件の交通事故が発生しており、安全で円滑な交通の確保が必要。</p> <p>③南北幹線道路である(都)八木松陰線と一体的な整備により、地域間の連携が強化され、地域の活性化が図れる。</p> <p>④災害時の緊急輸送道路から避難場所(谷八木小学校)へのアクセス強化が図れる。</p>					
(2) 有効性 ・効率性	<p>①本路線と八木松陰線の一体的な整備により、東播磨地域の東西及び南北交通の円滑化を図り、また、歩道整備による安全性向上を図ることにより、交通環境が改善される。</p> <p>②広幅員化により、建物火災や倒壊等が発生した際でも通行できる道路として、防災機能の強化を図ることができる。</p> <p>③平成 24 年の通学路緊急合同点検の際、谷八木小学校の PTA より歩道拡幅の要望があった。</p>					
(3) 環境適合性 (騒音・沿道環境)	<p>・歩道舗装を透水性舗装とすることで、雨水が地盤へ浸透し、ヒートアイランドの抑制や雨水流出抑制など、都市環境の改善に寄与する。</p>					
(4) 優先性	<p>・明石市を東西につなぐ幹線道路で交通量が多く、通勤・通学等の利用者は危険な状況となっている。また、歩道が未整備で谷八木小学校の通学路に指定できず、児童は住宅地の細街路を利用しながら通学しており、早期の対策が必要である。</p>					
再評価の結果	継続	理由	事業の必要性は、事業採択時と変わっておらず、東播磨地域臨海部の東西交通を担う幹線道路であることから、継続して事業を実施する必要がある。			

事業進捗状況概要図（継続：再評価）



	事業進捗状況・予定	整備効果
全体 (H19～H28)	【事業費＝13.3億円】 延長：400m 用地補償件数：53件、2,248㎡	—
事業採択～H28まで (H19～H28)	【事業費＝7.5億円】 ・用地補償件数：53件中43件契約（81%） ・①L＝60mの拡幅工事が完了 ・②交差点改良工事が完了 ・③谷八木橋架替工事に着手	
今後 3年間 (H31)	【事業費＝5.8億円】 ・平成30年度中に用地取得を完了し、平成31年度供用に向けて、事業を推進する。	道路ネットワークが強化されるとともに、安全な歩行空間が確保される。

位置図



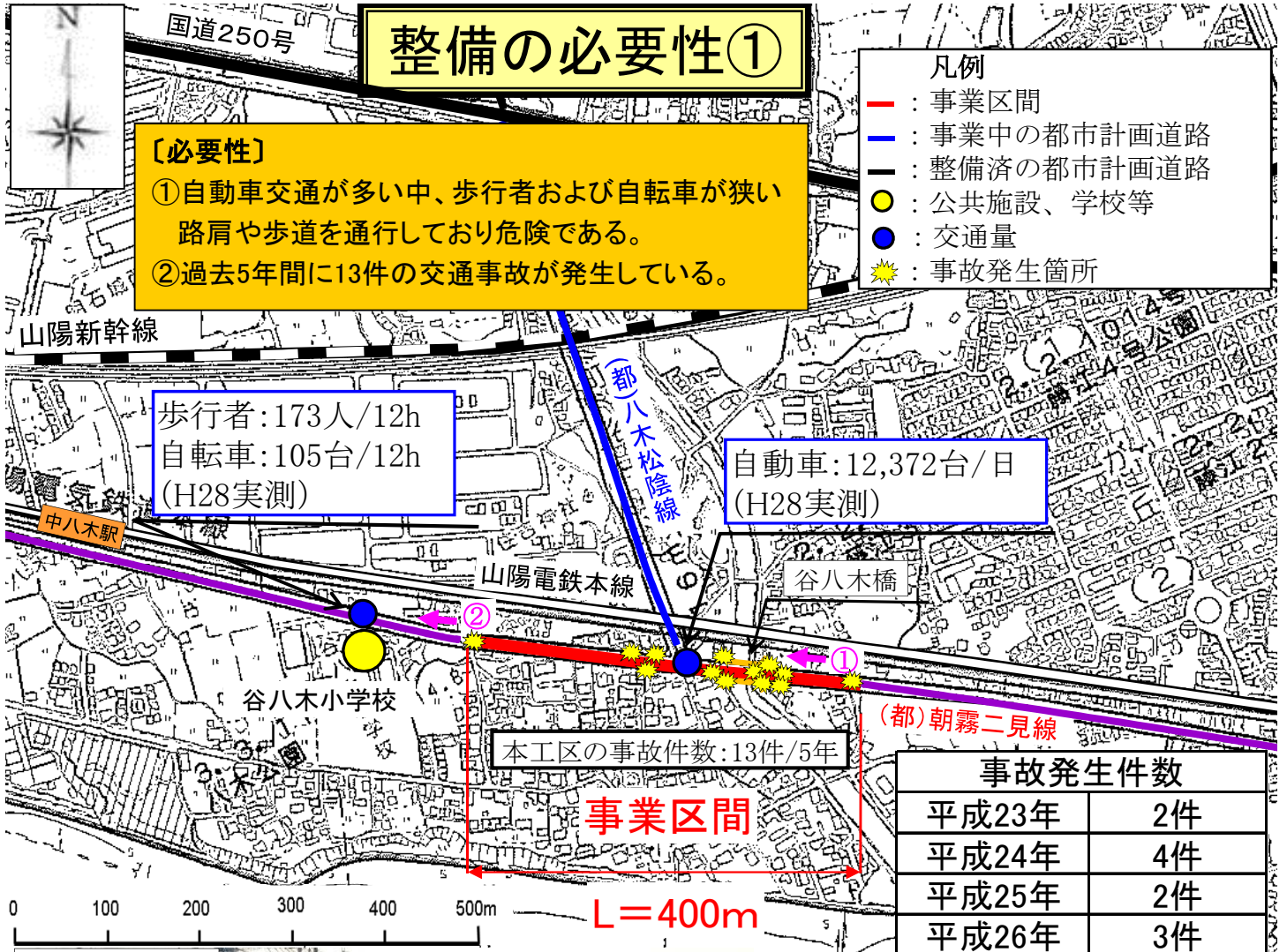
整備の必要性①

【必要性】

- ①自動車交通が多い中、歩行者および自転車が狭い路肩や歩道を通行しており危険である。
- ②過去5年間に13件の交通事故が発生している。

凡例

- : 事業区間
- : 事業中の都市計画道路
- : 整備済の都市計画道路
- : 公共施設、学校等
- : 交通量
- ☀ : 事故発生箇所



事故発生件数	
平成23年	2件
平成24年	4件
平成25年	2件
平成26年	3件
平成27年	2件

① 通行状況



② 通行状況



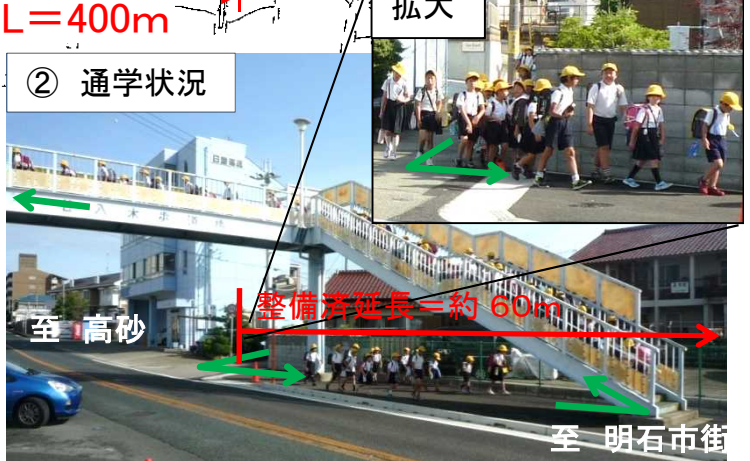
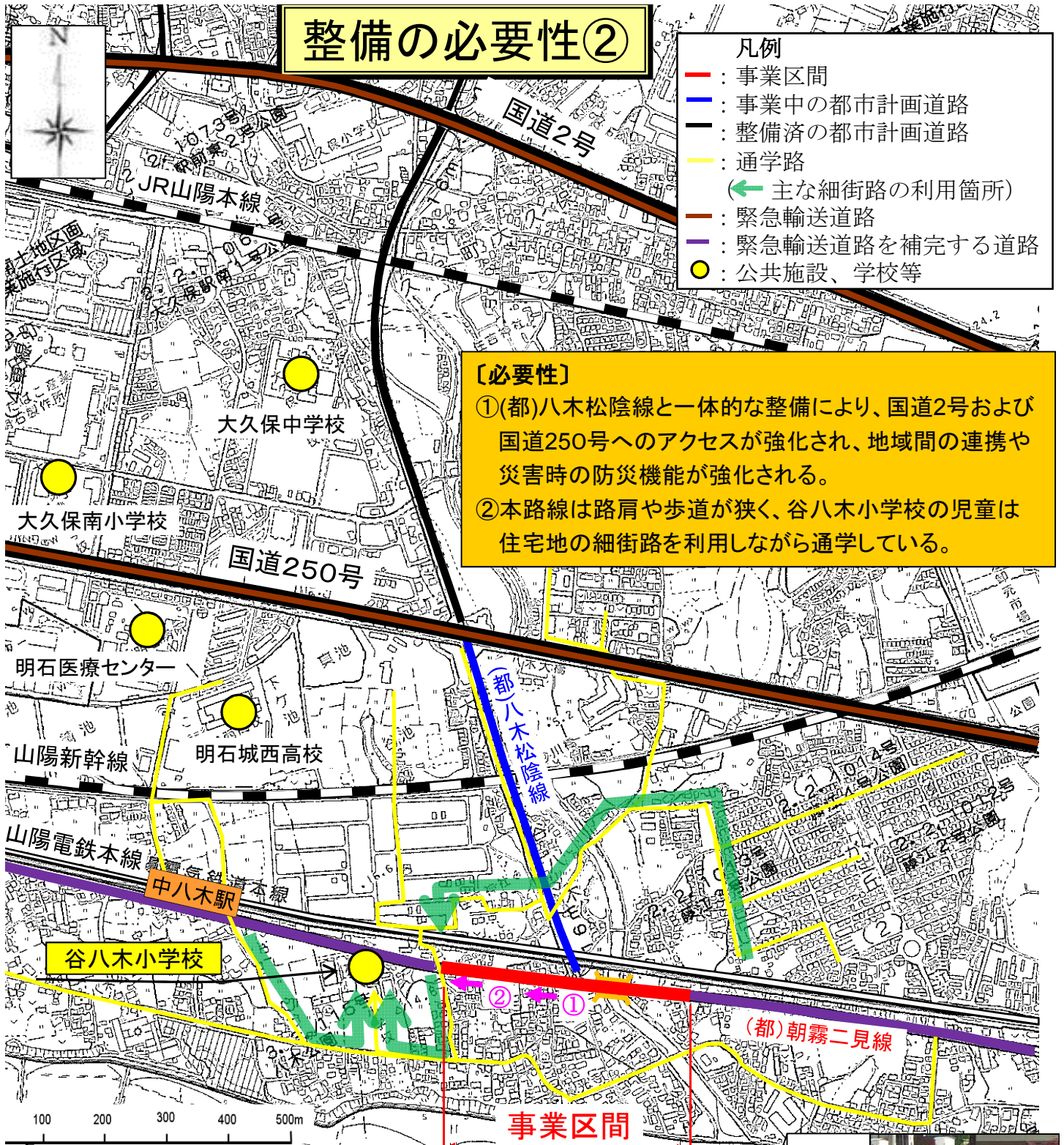
大型車通行時は、
非常に危険

整備の必要性②

- 凡例
- : 事業区間
 - : 事業中の都市計画道路
 - : 整備済の都市計画道路
 - : 通学路
 - ← (緑) : 主な細街路の利用箇所
 - (茶) : 緊急輸送道路
 - (紫) : 緊急輸送道路を補完する道路
 - (黄) : 公共施設、学校等

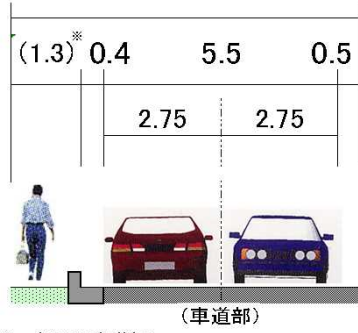
【必要性】

- ①(都)八木松陰線と一体的な整備により、国道2号および国道250号へのアクセスが強化され、地域間の連携や災害時の防災機能が強化される。
- ②本路線は路肩や歩道が狭く、谷八木小学校の児童は住宅地の細街路を利用しながら通学している。



現況断面図

7.7

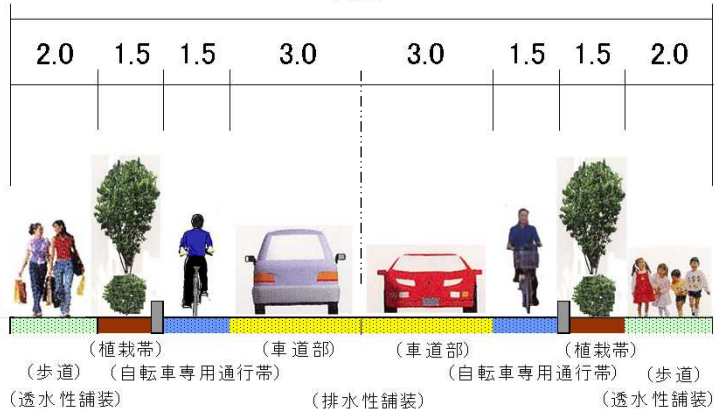


※一部区間歩道無し

計画断面図

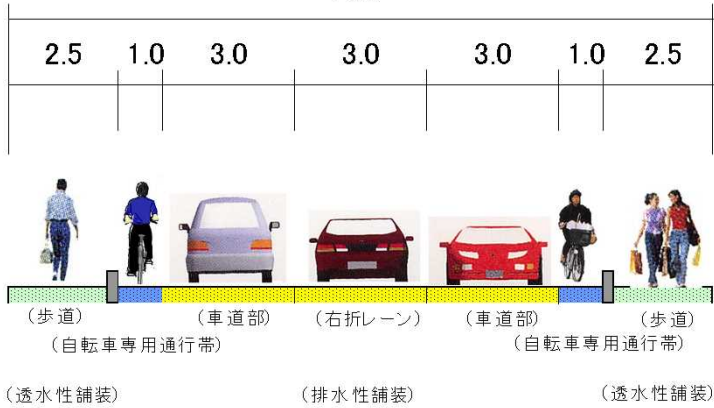
(一般部)

16.0



(交差点部)

16.0



実施工程表

— : 前回計画
— : 実施計画

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
設計	—												
測量・調査	—												
用地補償	—		—										
道路改築工事			—					—		—			
橋梁架替工事			—							—			

工事着手が約7年延伸

街路-6

道路・街路事業の効果

対象事業：都市計画道路事業（都）朝霧二見線（谷八木工区）

（１）整備効果

評価の視点		効果項目	該当する事業内容等	
①安全・安心の確保	災害時	緊急医療・緊急物資の円滑な輸送の確保 （※緊急輸送道路の整備、防災拠点・災害拠点病院へのアクセス道路の整備）	○	・緊急輸送道路と地域の避難所（小学校）を結ぶ避難路の整備
		救助・救援活動の支援 （※災害時の通行不能や孤立集落の解消）	○	・火災時の延焼遮断帯としての機能を確保
		減災対策への取り組み （※二線堤道路、避難路・避難場所としての機能、延焼防止機能の確保）	○	・明石医療センターへのアクセス性が向上
	平時	救急医療体制の支援	○	・自転車走行部の明示により歩行者、自転車双方の安全を確保
		交通安全対策	○	・明石市から神戸市へのアクセス性が向上
②地域の活性化		地域間交流の促進	○	明石市から神戸市へのアクセス性が向上
		中心市街地の活性化	—	—
		地域産業の活性化	○	国道 2 号、国道 250 号への交通の円滑化による地域産業の活性化を支援
		観光支援	—	—
		地域プロジェクト等支援	—	—
③円滑な交通体系の確保		公共交通機関利用の促進 交通結節機能の向上	○	・山陽電鉄中八木駅へのアクセス性が向上 ・バス路線定時性の確保
④地域の環境改善		沿道環境の改善 景観形成	○	・車道部の低騒音舗装による車両騒音の低減

（２）地域からの要望状況等

要望状況等	平成 24 年の通学路緊急合同点検の際、谷八木小学校の PTA より歩道拡幅の要望があった。
-------	--